報　告　書

開催日時	令和8年6月26日（金） 15時00分　～　　16時30分
開催場所	厚木市役所　4階　大会議室
担当議員	議員28人
参加人数	東京農業大学の学生22人、大学教職員１人
報告事項	市議会の役割について
意見交換（テーマ）	若い世代が思い描く未来のあつぎ
参加者からの質問・意見等	5グループに分かれて、学生と担当議員で意見交換。 グループごとに、学生がまとめて意見等を発表。 ＊内容は別紙のとおり
意見書等の検討が必要な意見等	特になし

令和8年8月27日

令和　8　年度　　第22回議会報告会

広報広聴特別委員会委員長　川口　仁

別紙

第２２回議会報告会（東京農業大学）

グループ発表　２０２６．６．２６

Ａグループ　：　より良い未来の厚木市

概要：20 年後の厚木市の目標を「自然と都会の調和」に設定。住民が「ずっと住みたい」、訪問者が「第二のふるさと」と感じるまちを目指す。

快適さの向上：駅周辺の交通混雑を改善。車・自転車が通りづらい現状を踏まえ、道路の拡幅や新設を提案。

娯楽の充実：楽しさが点在し、どこでも楽しめる環境の整備を理想に掲げる。

具体策：道の駅の設置、住宅街の公園拡充、駅近の地下体育館の設置。
自然を活用した施設（牧場・動物園など）を増やし、近場でも遠出でも楽しめるまちへ。

Ｂグループ　：　利便性と福祉の向上

概要：道路行政、福祉、レジャー、自然活用などを横断的に改善提案。

道路と福祉：スクールゾーン設置など、子供に配慮したまちづくりを推進。
還元率の高い商品券など、市の優れた取組を積極ＰＲ。

レジャーと利便性：駅から離れたレジャースポット・スーパーが少ないため、拡充を要望。

自然と交流：住宅街の緑化推進、自然を生かしたイベント開催を提案。
農家との交流機会の増加を希望。

個人的な要望：学食が高いため、大学食堂への補助を検討してほしい。

Ｃグループ　：　厚木市らしさを生かしたまちづくり

概要：厚木市の二面性と既存施策を評価しつつ、課題解決と「厚木らしさ」の強化を提案。

良い点：駅前のにぎわいと郊外の豊かな自然の両立。
大学生が暮らしやすく、イベントが多い。
暮らし応援事業の還元率が高い（１万円で 6000 円還元）。

課題点：坂が多く、国道 246 号の渋滞が激しい。
夜間の騒音・酔客による治安不安。
街路樹のはみ出しで自転車通行の妨げ。
市の良い取組（給付金等）　が学生に十分周知されていない。

将来像：「厚木市といったらこれ」という大型イベントの企画。
地域密着型店舗を増やし、駅前で「厚木らしさ」を発信。
手軽に持ち帰れるお土産が少ないため、名物の開発に期待。

Ｄグループ　：　来る人も住む人も楽しめる街

概要:現状から未来を構想し、「駅前整備」「交通」「自然」「名物」の 4 領域で提案。
駅前整備:治安向上による安全なまちづくり。
　　大学生・ファミリーが夜間に利用できるレストラン・カフェを充実。
交通の充実:小田急線以外の路線乗り入れや鉄道サービスの充実を検討。
　　車がないと行きづらい場所が多いため、バス等の公共交通機関を拡充。
自然と名物:自然を楽しめる公園の多様化、アスレチック施設の設置。
　　厚木珈琲、シロコロ・ホルモンなど既存名物の対外発信強化。

Ｅグループ　：　地方出身者から見た厚木市

概要:　地方出身者の視点から、厚木市の長所と改善点を整理。
良い点:交通の便が良い(小田急線・神奈川中央交通)。新宿・箱根へ直通で行ける。
　　公園が多い(厚木中央公園、ぼうさいの丘公園)。
　　自然と触れ合える場所が豊富(七沢など)。
改善点と対策:郊外の道路が狭い → カーブミラー増設で安全性向上。
　　七沢温泉・飯山温泉の認知度が低い
　　→ SNS 活用や本厚木駅発のシャトルバス運行でアクセス・認知を改善。
　　本厚木駅周辺の汚れ → 清掃ボランティア活動の推進と意識向上で
　　美化・治安改善。